

Chilled & Frozen
Logistics Holdings
Co.,Ltd.

第 3 期 年次報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日



C&F LOGISTICS

株式会社C&Fロジホールディングス

証券コード：9099

統合効果の取り組み強化 さらなる飛躍へ



株式会社C&Fロジホールディングス
代表取締役社長 **林原 国雄**

Q 食品物流業界を取り巻く環境と 当期の業績について教えてください

当連結会計年度における日本経済は、個人消費や設備投資の持ち直しが見られ、雇用・所得環境の改善等を背景に全体として緩やかな回復傾向が続いております。

一方で、米国による関税引き上げをはじめとする保護主義的な動きによる円高や資源高の進行、国内においては年々深刻化している労働力不足によるコスト増は、今後も企業収益の圧迫要因となり、景気の先行きには慎重な見方が必要な状況となっております。

当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、ライフスタイルの変化などを背景に引き続き冷凍・冷蔵食品の需要は堅調に推移しております。しかしながら、顧客の更なる物流効率化のニーズへの対応に向けた様々な施策の実施、ならびに今後想定される労務コンプライアンスへの更なる対応など、「食の安心と安全」を担保する高品質な物流サービスを提供するためのコスト増は、避けては通れない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは「第一次中期経営計画」の2年目におきまして、グループ内における車両や既存施設等の相互利用による物流の効率化推進、ならびにコスト低減の効果を具現化してまいりました。

営業収益におきましては、取扱物量が堅調に推移し、新規営業所の稼働等もあり増収を確保いたしました。また、利益につきましては、社員数の増加に加え、契約社員の正社員化や人事制度の一部見直しによる労務費の上昇がありましたが、当社グループの主要事業会社における車両や既存施設等の相互利用による外注費の削減等が奏功し、営業利益ならびに経常利益におきましては増益を確保いたしました。

引き続き経営統合によるシナジー効果の更なる飛躍に向けた取り組みを強化し、グループ各社の得意分野を一体化した顧客サービスや物流品質の更なる向上を実現してまいります。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、営業収益は104,167百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は3,845百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は3,981百万円（前年同期比1.1%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2,604百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

Q 今後の見通しについて教えてください

平成30年度（平成31年3月期）につきましては、平成28年度からスタートした「第一次中期経営計画」の最終年度に当たり、数値目標の必達は元より「足元を固め安定した土台を作る」期間としての総仕上げを行うとともに、様々な取り組みの成果の検証・評価を行います。同時に、平成30年度を「第二次中期経営計画（平成31年度～平成33年度、予定）」のゼロ年度と位置付け、DC事業、TC事業それぞれに新たなインフラ整備を進めるなど、これらのインフラを100%活用すべく営業開発の推進を図ります。

併せて「創造しよう 物流新時代 結集しよう 日本一の現場力」をスローガンとし、既存顧客との深耕による物量の確保と共に、グループ各社の特長を活かした経営統合効果の一層の発揚を実現すべく効率的なオペレーションに尽力いたします。また、昨今の物流業界を取り巻く環境も踏まえ、コスト先行とはなりますが、人材の確保と育成につきましても、正社員化の促進や人事制度の整備なども重要施策の一環として継続いたします。

以上のことから、平成30年度の連結業績は、営業収益1,073億円、営業利益39億円、経常利益42億円、親会社株主に帰属する当期純利益は25億円を見込んでおります。

来期の見通し

	平成29年度 実績	平成30年度 予想	前期比
営業収益（百万円）	104,167	107,300	3.0%増
営業利益（百万円）	3,845	3,900	1.4%増
経常利益（百万円）	3,981	4,200	5.5%増
親会社株主に帰属 する当期純利益（百万円）	2,604	2,500	4.0%減
1株当たり当期 純利益（円）	102.13	98.03	4.0%減
1株当たり配当金 （うち中間配当）（円）	20 (10)	20 (10)	—

Q 配当の考え方について教えてください

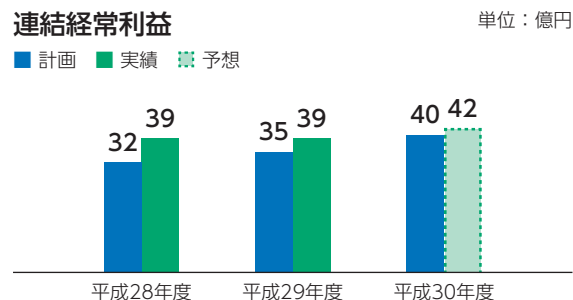
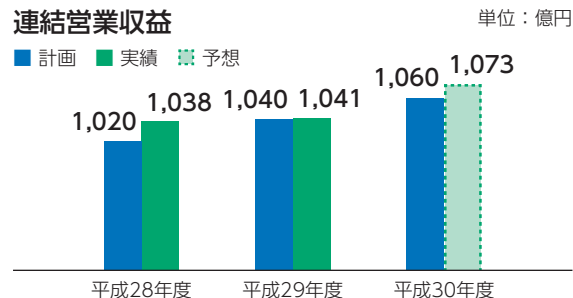
当社は、株主の皆さまに対する利益還元策を経営の重要課題の一つとして認識し、1株当たり年間配当金額20円とした安定配当を基本としております。

また、内部留保金につきましては、更なる業容拡大を図るために必要となる物流施設等の大型設備投資及び財務体質強化のための原資として充当する予定です。

平成29年度の配当につきましては、1株当たり年間配当金額20円（中間配当10円、期末配当10円）を実施いたしました。

また、平成30年度の配当につきましても、平成29年度と同額の1株当たり年間配当金額20円（中間配当10円、期末配当10円）を基本として計画しております。

第一次中期経営計画の進捗



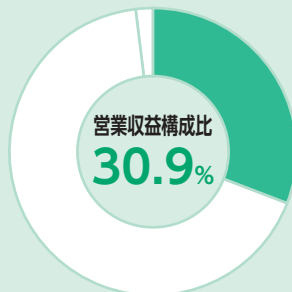
事業概要（セグメント別）

連結業績ハイライト

事業内容

（保管在庫型物流事業） DC事業

■ 営業収益
32,175
百万円

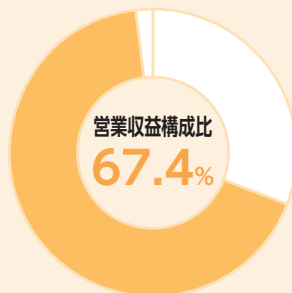


主に低温食品の保管・荷役及び輸配送を一体的に行う事業で、全国の各要衝に展開する流通型冷凍・冷蔵倉庫において、低温食品の共同保管・荷役及び輸入冷凍食品の保税業務を行い、併せて共同配送の機能を活かし、納品先へ24時間以内でお届けするコールドチェーン物流を構築しております。



（通過型センター事業） TC事業

■ 営業収益
70,244
百万円

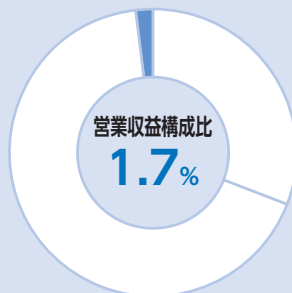


365日24時間体制で、主にチルド食品を中心とした低温食品のセンター業務及び輸配送を行う事業で、全国の各要衝に展開する流通型冷蔵倉庫において、食品メーカー等から受託したチルド食品や飲料等の共同配送業務、コンビニエンスストアや量販店、共同仕入機構、生活協同組合等の配送センター業務ならびに店舗配送を行っております。



その他

■ 営業収益
1,746
百万円



警備業法に基づく、首都圏の金融機関で取り扱う現金・貴重品・手形等の重要書類の配送、病院向けリネン類の集荷配送、在宅介護用品の宅配、物流事業者向けの乗務員・倉庫オペレーター・事務員等の人材派遣、当社グループならびに取引先の保険代理店業務等を行っております。



業績概要

既存店所における近年の設備投資効果などによる取扱物量の増加もあり、営業収益は32,175百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

セグメント利益につきましては、契約社員の正社員登用による労務費の増加や、下期における一部外国貨物の集中によるコストの増加などがありましたが、グループ内の既存施設の相互利用及び内製化による外注費の削減等により4,072百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

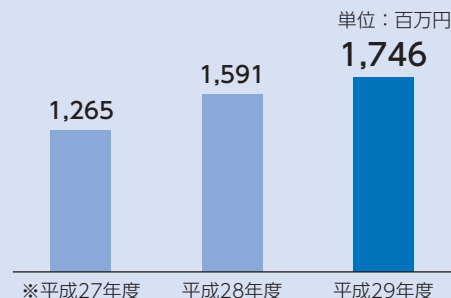
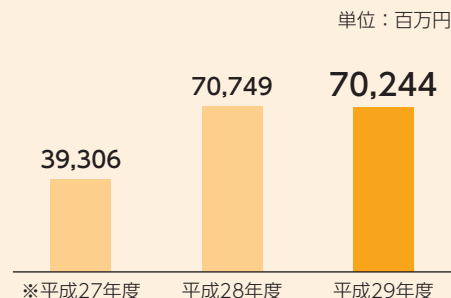
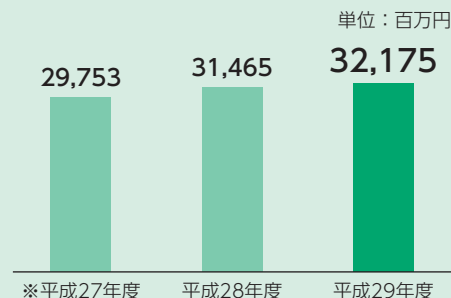
新規営業所の稼働（平成29年10月）等はありませんでしたが、採算性向上を目指した一部業務の撤退（平成29年6月）により、営業収益は70,244百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

セグメント利益につきましては、内製化の進捗や取扱物量の減少に対応した外注費の削減等により4,213百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等により営業収益は1,746百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

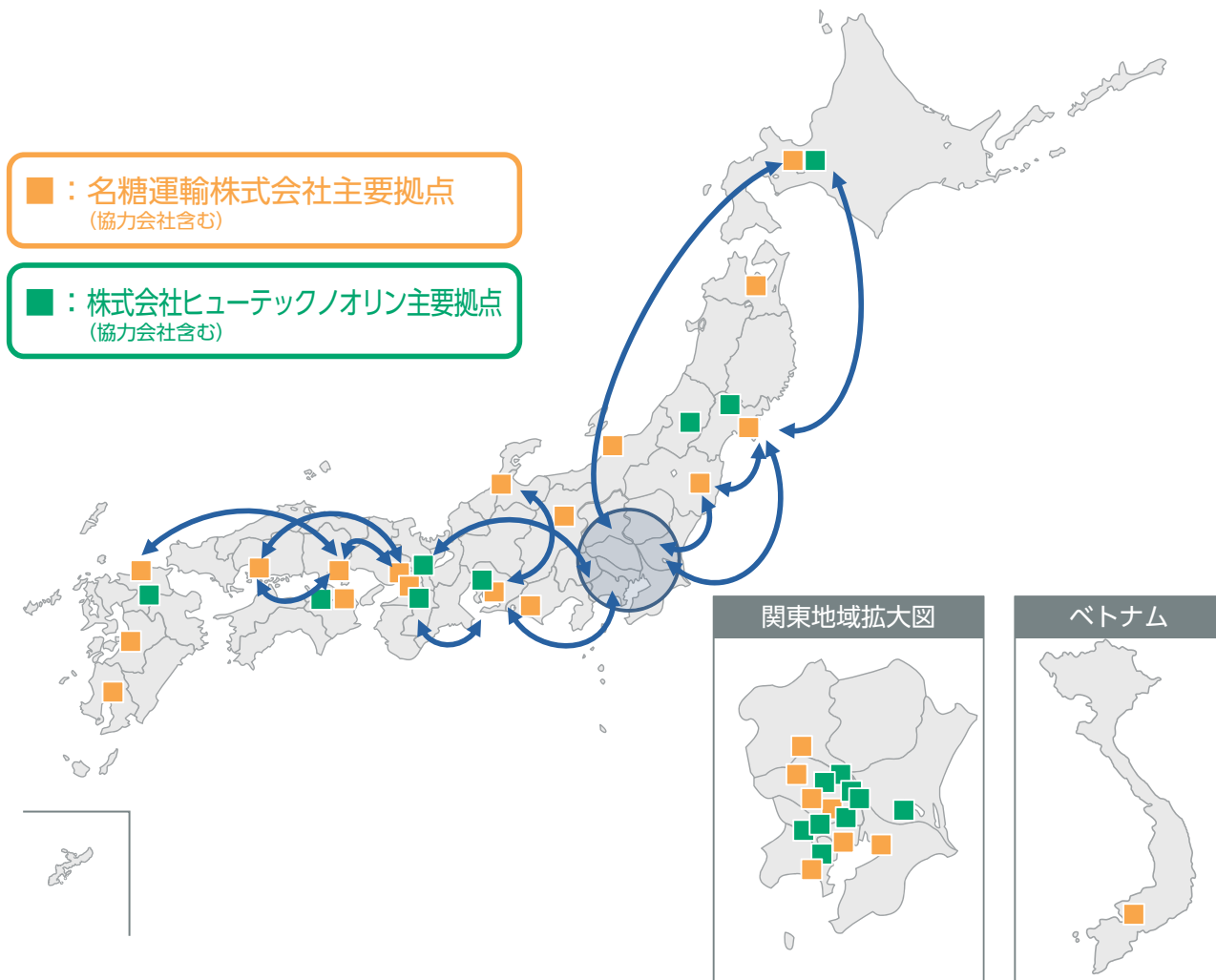
セグメント利益につきましては、289百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

営業収益の推移



※平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日）の連結経営成績は、企業結合会計の適用により取得企業である株式会社ヒューテックノオリンの連結会計年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日）の連結経営成績を基礎に、名糖運輸株式会社及びその関係会社の第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間（平成27年10月1日から平成28年3月31日）の連結経営成績を連結したものととなります。

両事業会社の物流センターや配送網を活用し
効率的で高品質な物流サービスを提供しています。

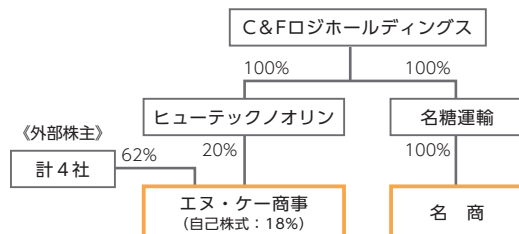


株式会社C&Fサポートサービス 誕生

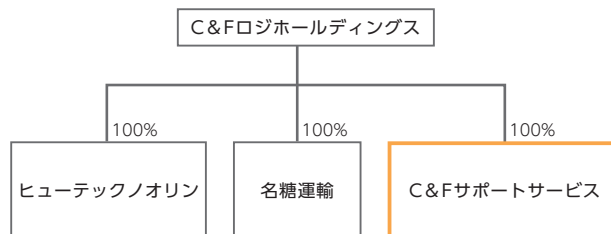
平成30年4月1日、名糖運輸株式会社の子会社として保険代理店業を担ってきた「株式会社名商」と株式会社ヒューテックノオリンの保険代理店業を担ってきた「エヌ・ケー商事株式会社」が合併し、「株式会社C&Fサポートサービス」が当社の100%連結子会社として新たにスタートいたしました。

これにより、当社グループの保険代理店業が一括化され、グループをサポートする体制がより強化されました。

〔組織再編成前〕



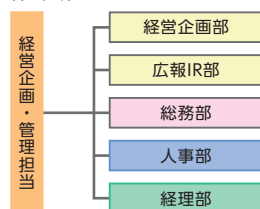
〔組織再編成後〕



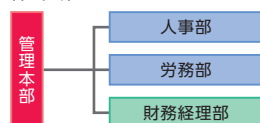
株式会社C&Fロジホールディングス 管理部門の組織統合

C&Fロジホールディングスグループの機能統合の一環といたしまして、平成30年4月1日付で管理本部を新設いたしました。

株式会社C&Fロジホールディングス



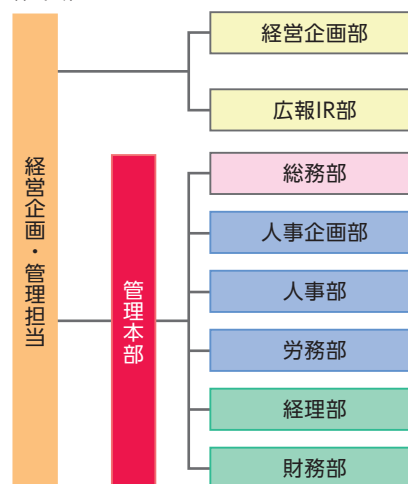
株式会社ヒューテックノオリン



名糖運輸株式会社



株式会社C&Fロジホールディングス



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (平成29年3月31日現在)	当期末 (平成30年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,791	4,887
営業未収金	10,447	11,659
原材料及び貯蔵品	174	234
繰延税金資産	716	759
その他	1,141	1,298
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,271	18,837
固定資産		
有形固定資産	49,977	50,550
無形固定資産	282	742
投資その他の資産	7,922	8,361
固定資産合計	58,182	59,654
資産合計	76,453	78,491

1 営業未収金

3月末が金融機関休業日であるための影響による増加

2 有形固定資産

償却による減少及びヒューテックノオリンの箕面森町事業用地の取得による増加

3 無形固定資産

メイトウベトナム第二倉庫借地権の取得による増加

(単位：百万円)

	前期末 (平成29年3月31日現在)	当期末 (平成30年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,095	4,218
短期借入金	2,100	4,150
一年内返済予定の長期借入金	1,235	1,359
一年内償還予定の社債	124	－
リース債務	1,837	1,779
未払法人税等	1,007	823
賞与引当金	1,585	1,791
役員賞与引当金	67	53
設備関係支払手形	404	69
その他	4,484	5,155
流動負債合計	16,941	19,399
固定負債		
長期借入金	7,048	6,039
リース債務	9,768	8,134
繰延税金負債	286	260
再評価に係る繰延税金負債	404	404
退職給付に係る負債	5,959	6,238
資産除去債務	1,529	1,545
その他	521	471
固定負債合計	25,519	23,095
負債合計	42,461	42,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	5,837	5,849
利益剰余金	23,217	25,310
自己株式	△2	△321
株主資本合計	33,052	34,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	753	889
土地再評価差額金	△320	△320
為替換算調整勘定	△11	△33
退職給付に係る調整累計額	△214	△195
その他の包括利益累計額合計	208	341
非支配株主持分	731	817
純資産合計	33,992	35,996
負債・純資産合計	76,453	78,491

4 短期借入金

ヒューテックノオリンの箕面森町事業用地の取得に係る借入金の増加

5 長期借入金

返済による減少

6 リース債務

リース料支払いによる減少

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
7 営業収益	103,806	104,167
8 営業原価	95,719	95,771
営業総利益	8,087	8,395
販売費及び一般管理費	4,245	4,550
9 営業利益	3,841	3,845
営業外収益		
受取利息	19	22
受取配当金	35	41
受取保険戻金	33	62
受取賃貸料	84	100
持分法による投資利益	79	69
その他	192	204
営業外収益合計	444	500
営業外費用		
支払利息	284	264
リース解約損	20	25
為替差損	—	43
その他	41	30
営業外費用合計	346	364
経常利益	3,940	3,981
特別利益	51	56
特別損失	25	114
税金等調整前当期純利益	3,966	3,923
法人税、住民税及び事業税	1,462	1,574
法人税等調整額	△226	△294
法人税等合計	1,236	1,280
当期純利益	2,730	2,643
非支配株主に帰属する当期純利益	49	38
親会社株主に帰属する当期純利益	2,680	2,604

7 営業収益

新規営業所の稼働や既存店での取扱物量が堅調に推移したことによる増収

8 営業原価

労務費及び燃料費の増加

9 営業利益

当社グループの主要事業会社の車両や既存施設等の相互利用により、外注費の削減できたことによる増益

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
10 営業活動によるキャッシュ・フロー	9,796	7,088
11 投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,296	△6,005
12 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,304	△1,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,207	△854
現金及び現金同等物の期首残高	4,191	5,491
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	—
現金及び現金同等物の期末残高	5,491	4,637

10 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度末が金融機関休業日のため売上債権が増加したことなどにより、資金が前期と比べて減少

11 投資活動によるキャッシュ・フロー

ヒューテックノオリンの箕面森町事業用地取得及びメイトウベトナム第二倉庫借地権の取得などにより、資金が減少

12 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済、リース債務及び配当金の支払などにより、資金が減少

会社情報

会社概要（平成30年3月31日現在）		役員（平成30年6月27日現在）	
会社名 （英文社名）	株式会社C&Fロジホールディングス Chilled & Frozen Logistics Holdings Co., Ltd.	代表取締役社長	林 原 国 雄
設立年月日	平成27年10月 1 日	取締役会長	松 田 毅 夫
本店所在地	〒162-0056 東京都新宿区若松町33番8号 Tel. 03-5291-8100（代表）	取締役副社長（営業担当）	綾 宏 将
事業の内容	貨物運送事業、倉庫事業等を行う傘下 子会社及びグループの経営管理ならび にこれに関連する事業	専務取締役（経営企画・管理担当）	武 藤 彰 宏
資本金	4,000百万円	常務取締役（内部統制担当）	道 田 和 宏
従業員数	132人（単体） 4,591人（連結） （社員・契約社員・臨時要員のグループ合計 11,426人）	常務取締役（施設担当）	酒 光 修 史
		取締役（社外）	小 澤 渉
		取締役（社外）	水 谷 彰 宏
		常勤監査役	宮 崎 博 史
		常勤監査役（社外）	杉 田 健 一
		監査役（社外）	高 木 伸 行
		監査役（社外）	舘 充 保

株主優待

毎年3月31日（基準日）現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上を保有していただいている株主様を対象といたします。

株主優待の内容	100株以上 ～ 500株未満	豆菓子（あとひき豆ピーナッツ）
	500株以上 ～ 1,000株未満	新潟県魚沼産コシヒカリ（新米）3 kg
	1,000株以上	新潟県魚沼産コシヒカリ（新米）5 kg



贈呈時期は、新米の収穫時期に合わせて全ての対象株主様に対して毎年10月中旬の発送を予定しております。

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,690,766株
一単元の株式数	100株
総株主数	9,218人

大株主の状況 (平成30年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	2,018	7.92
協同乳業株式会社	1,491	5.85
農林中央金庫	1,243	4.88
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,222	4.80
共栄火災海上保険株式会社	1,218	4.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,047	4.11
ヒューテックノオリン取引先持株会	781	3.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	717	2.81
J A三井リース株式会社	710	2.78
ヒューテックノオリン従業員持株会	663	2.60

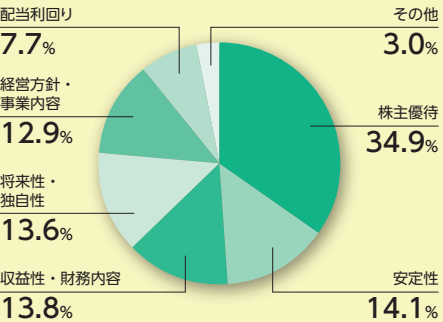
(注) 1. 持株比率は自己株式 (222,240株) を控除して計算しております。
 2. 持株数は千株未満、持株比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。

アンケートのご協力ありがとうございました。

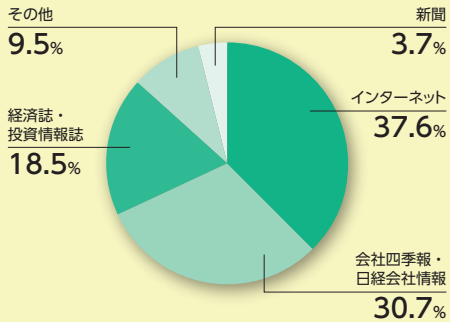
第3期中間報告書にて実施いたしましたアンケートの結果について一部ご紹介いたします。

当社は今後も定期的にアンケートを実施し、得られた情報は貴重なご意見として経営へ反映してまいります。

Q. 当社の株式を購入された理由はなんですか？



Q. 当社をどこでお知りになりましたか？



株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
議決権の基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	毎年3月31日及び9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	☎0120-782-031（受付時間 土・日・祝祭日を除く9時～17時）
公告方法	電子公告（ http://www.cflogi.co.jp ） ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ホームページのご案内

当社の情報は、下記ホームページでご案内しております。
是非ご覧ください。

<http://www.cflogi.co.jp>



株式会社C&Fロジホールディングス

